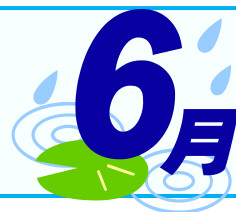


知仁会だより



理念

- ・私たちは、患者様を身体面・精神面・社会面の三つの軸でトータルに理解し、治療と支援を行います。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、患者様への接遇やサービスの向上と医療の安全に尽くします。
- ・私たちは、患者様の個人情報保護と企業情報保護に全力で取り組みます。
- ・私たちは、良質で効率的な医療・看護・介護・リハビリ・福祉サービスを目指します。
- ・私たちは、健全な病院経営を行います。
- ・私たちは、知仁会の施設サービス・在宅サービスを通じて一生をあたたくお世話します。
(ターミナルケア実施)
- ・私たちは、地域社会と連携し、地域社会への貢献に努力します。
- ・私たちは、障がい者の人権を擁護し、差別と偏見の解消に努めます。
- ・私たちは、仕事の意義と組織の一員であることを理解し、知仁会に誇りを持ち、より向上するために支え合って働きます。

患者様の権利憲章

- ・個人として、その人格を尊重し、最善の医療を公平かつ安全に受ける権利があります。
- ・病気、検査、治療、リハビリなどについて十分な説明を受ける権利があります。
- ・患者様の個人情報、及びプライバシーは保護されます。
- ・転医、転院等を希望する場合は必要な情報を提供します。また、他の医師の意見を求めたい場合は、他の医療機関への紹介を受ける権利があります。(セカンドオピニオン)
- ・診療情報の開示を推進し医療の透明性の確保に努めます。
- ・良好で快適な療養環境のもとに医療を受ける権利があります。
- ・精神科医療においては、精神保健福祉法に準拠した施行がなされます。
- ・良質な医療を実現するために、患者様ご自身の健康に関する情報を出来る限り正確・迅速に知らせる責務があります。
- ・患者様自身が納得できる診療を受けるために、医療に関する説明についてよく理解できなかったことについて、よく理解できるまで質問をする権利があります。
- ・すべての患者様が快適な環境で医療が受けられるよう、病院内のルールやマナー、職員の指示をお守りいただく義務があります。

理事長挨拶

医療法人社団知仁会 理事長 石井 知行

新型コロナ禍もウクライナ戦争も未だ終息が見えてきません。グローバル化の中にあっては、我々も無縁でおれず、感染拡大、物流の混乱など大きな被害を受けています。しかしながら、日本はコロナ禍も世界に比べると比較的平穏であり、また、戦時下でもありませんので恵まれていると思います。振り返って日本を見ますと、危険な核保有国に取り込まれており困難な状況が発生することが危惧されています。

平和は抑止のバランスを保つことができてやっと維持できることはウクライナ情勢が示しています。今までは日本はアメリカの後ろ盾があったのでそれが可視化されなかっただけです。これからは、本気で考えていかないと、家族、国民、国土を守っていけない時代に既になっているように思われます。

6月の院内行事

日時	行事名	主催	内容	場所
-	カラオケ大会	作業療法士	コロナウイルス感染症防止対策の為、中止となりました。	-
8日(水) 16日(木)	ワーカー研修会	教育委員会	別館2階が担当となり「移乗・移動(車椅子、ストレッチャー、入浴時など)」というテーマで研修を行いました。	メープルホール
30日(木)	知仁会研修会	教育委員会 褥瘡対策委員会	メープルヒル病院精神科野見山敏之医師が講師となり、「隔離・身体拘束(抑制)を含む」というテーマで研修を行います。	メープルホール
1日(水) 15日(水)	摂食機能専門職	言語聴覚士 医療安全管理委員会	新入職員・未受講者対象	メープルホール
-	摂食機能専門職	言語聴覚士 医療安全管理委員会	「修了証」更新者対象	-

6月の実習・研修予定

期 間	担 当	研修・実習内容	施設名	人 数
4月4日(月)～6月4日(土)	OT	作業療法士	広島都市学園大学	1人
5月30日(月)～7月15日(金)	PT	理学療法士	広島都市学園大学	1人
6月6日(月)～7月1日(金)	医局	研修医	岩国医療センター	1人



ツバメのヒナ成長しています！

今年も例年のように4月頃からツバメが当院職員靴箱付近の換気扇口に巣を作っています。ヒナもどんどん成長し、職員一同ヒナの成長を見守っています。無事巣立っていく日が楽しみです。



広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援・合併型センター

認知症に関するお困り事の相談（専門医療相談）
受診のご予約
認知症の診断・治療
認知症初期集中支援チーム

介護保険代行申請
介護予防ケアプランの作成
地域の健康作り・情報発信
認知症カフェ オレンジカフェいこか！ 等

専門医による鑑別診断及び専門外来
月曜日～木・土曜日（金・日祝祭日休み）
9：30～12：00（※予約制）

電話相談・受診のご予約
月曜日～土曜日（日祝祭日休み）
8：30～17：30

☎ 0827-57-7461（直通）

認知症カフェ オレンジカフェ いこか！ 開催しました！

5月20日（金）にコミュニティサロン元町にて開催しました。今回のミニレクチャーでは、「脳トレにチャレンジ」というテーマでお話をし、実際に脳トレにも取り組んでいただきました。脳トレには、①知的トレーニング②身体トレーニング③食事トレーニング④生活トレーニングの



4つの種類があり、年齢を重ねる前に日々の生活に刺激や変化を促す脳トレを行うことで認知機能の低下を防ぐことができます。カフェの中では身体トレーニングとして、左手をグー・チョキ・パーの順に出し右手が勝つ「片手勝ちじゃんけん」や、1から30まで足ふみしながら3の倍数で手をたたく「足ふみ・3の倍数」に取り組んでいただきました。認知機能低下の予防は日々の積み重ねです。「面倒だな…」と思うことを少しだけやってみましょう。同じことの繰り返しは脳が慣れてしまい刺激にならないため、日々新しいものを見つける努力をしてみると良いかもしれません。

ひばりの会を
ご紹介します！

ひばりの会は、地域の方が立ち上げた集いの場です。ひばりの会の活動の一つに「いきいき百歳体操」があります。ひばりの会が開催されるようになって20年、いきいき百歳体操を始めて5年だそうです。現在は8名で活動されています。

今回、市役所職員と玖波包括が訪問させていただき、市役所職員よりいきいき百歳体操のポイントを説明され、身体を使った脳トレを行ったり、低栄養予防のパンフレットを用いて説明をしたりしました。みなさん、いきいきとした表情で楽しんで参加されていました。



研修会報告 第1回 重層的支援体制整備事業研修会

令和4年4月15日（金）、大竹市役所2階会議室において重層的支援体制整備事業の一環として研修会を開催しました。重層的支援体制整備事業とは、老人・児童・障害・困窮など福祉の4分野を地域づくり等も含めて一体として統括運用できるようにするための事業です。様々な相談に対して分野を問わず専門機関が協働して総合的に支援できることを目的としています。この事業を推進していくためには中核機関が必要となるため、大竹市・大竹市社会福祉協議会・知仁会が本事業の事務局として地域の取りまとめを行っていくことになりました。今回、事務局の活動として研修会を開催することになり、地域で分野を問わず「ひきこもり」の事例が増えていることから、「ひきこもり」をテーマにした研修会を開催して欲しいとの要望があり、参加した事業所が意見交換できるように「勉強会」という形で開催しました。ひきこもりの定義や背景・介入などについて共に学習し、参加事業所ごとの特色や対応、地域の社会資源についての意見交換や情報の共有ができ、有意義な研修になりました。第2回は、年末に開催する予定です。

・玖波地区地域包括支援・合併型センター ・地域活動支援センターみらい

B 型肝炎とユニバーサルワクチネーション

非常勤内科医師 内田 宅郎

○どんな病気？

B型肝炎ウイルス（HBV）は、全世界で、約3億5,000万人が感染していると言われ、そのうち日本では、約130～150万人（およそ100人に1人）が感染していると推定されています。HBVは肝臓に感染して炎症（肝炎）を起こします。肝炎は自覚症状が出ないことが多く、肝炎が持続すると慢性肝炎から肝硬変、さらには肝がん（肝細胞癌）へと進展する可能性があります。

○どうやって感染するの？なぜ肝炎になるの？

HBVへの感染は、HBVの含まれる血液や体液が体内に入ることにより起こります。輸血による感染の報告はあるものの、現在はゼロに近づいています。

子供へのHBVの感染は、HBVに感染した母親から産まれる際に起こる、母子感染が一般的ですが、出生後でもHBVを含んだ血液や体液が傷などから体内に入って感染が成立することがあります。過去には、保育園の園児、先生内で集団感染が起きたこともあり、父親など、家族内からの感染も報告されています。

一方、大人へのHBVの感染は、HBVに感染したパートナーとの性交渉の際に起きることが一般的です。しかも、自分自身の感染を知らず、気づかないうちに感染を拡大しているケースも見られます。

○ユニバーサルワクチネーションって何？

HBVへの感染は日常生活でも起こり得ることから、HBVに感染するリスクの高い人（血液や体液に接する可能性の高い職種の人など）以外の方でもB型肝炎ワクチンの接種を行うべきだという考えがあります。国民全員がワクチンを受ける方法を“ユニバーサルワクチネーション”と呼びます。

B型肝炎ワクチンは世界180か国以上で国民全員が接種を受けるワクチン（ユニバーサルワクチン）になっています。日本でも2016年10月から0歳児を対象とした定期接種が開始されました。乳幼児、小学生は集団生活の場でのHBV感染の危険性があるため、アメリカではB型肝炎ワクチンを接種していないと小学校への入学が認められません。日本でも一人でも多くの子どもたちがB型肝炎ワクチンを公費で接種できるようになることが望まれます。

○肝炎ウイルス検査を受けましょう！

広島県は、県が委託する医療機関及び県保健所（支所）で肝炎ウイルス検査（HBV および HCV）を無料で実施しています。検査は簡単な採血のため、短時間で済み、また、1～2週間で検査結果がわかります。ウイルスに感染しているかどうかは肝炎ウイルス検査でしかわからないため、まだ検査を受けたことがない方はぜひ検査を受けましょう。

広島県ホームページ

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/59/1206253599646.html>

＜行事報告＞ 農作物の収穫 キャベツを収穫しました！



当院では、さつき広場やみはらし庭園にて、作業療法プログラムの一つとして園芸活動を行っています。園芸活動は様々な病棟で行っており、先月の5月11日には、本館3階の患者様が育てられたキャベツの収穫を行いました。

本館3階の園芸活動は毎週水曜日に行っており、草ぬきや水やり、追肥等の作業を患者様と供に行い、立派なキャベツを収穫することができました。このキャベツは後日、試食会として患者様に提供し、美味しく食べていただきました。



歯科特集①



うがい薬「ネオステリンググリーン」について

歯科衛生士 洞口 未央

お口の中には非常に多くの細菌が存在しています。その理由は、湿度 100%、温度 40 度、1 日 3 回の栄養（食事）という、細菌が増えるのにとっても好ましい環境にあります。例えば鼻水 1 グラム中に存在する細菌の数は約 10 万個ですが、口腔内に存在する細菌は、よく歯を磨く人でも 100～2,000 億個、あまり磨かない人では 4,000～6,000 億個と言われています。

また、お口の中は歯や舌などの複雑な構造から、清掃も難しく、歯磨きをしても汚れが残ってしまいがちです。

そんな時に活躍するのが「うがい薬」です。多少の磨き残しがあっても、うがい薬の効果で菌の数を減らす事ができる上に、液体なら奥歯や歯と歯の間などお掃除の難しい部分にも届かせる事が可能だからです。

目的や効果などによって様々な種類のうがい薬が使用されますが、当院の口腔ケアでは主に「ネオステリンググリーン」を使用しています。

「ネオステリンググリーン」の主成分はベンゼトニウム塩化物で、広い抗菌スペクトルと強力な殺菌作用を持っています。歯科では抜歯をした後や、歯周治療の後など、感染予防を目的として処方しています。

また、毎食後の歯磨きが難しい方や、お体の免疫力が低下している方、インプラントを使用している方にも、口腔ケアの補助として使用を勧めています。基本的にうがいをする時に使いますが、うがいのできない方には、水で希釈したものを歯ブラシやスポンジブラシなどに含ませて口腔ケアをしています。「ネオステリンググリーン」を使用することにより、口腔内細菌が原因の口臭や歯周病には効果があります。

当院では通常のうがいで使用する他に、口腔ケアの介助が必要な方にもお勧めしています。経口摂取ではない方は、お口の中が乾燥しやすく、舌や頬粘膜の動きが少ないために汚れが残りやすい状態にあります。特に寝たきりの方は口腔ケアのためにお口を開けていただく事が難しい場合も多く、短時間で手早く口腔内細菌を減らすために「ネオステリンググリーン」の利用はとても効率的です。

普段の歯磨きに、もうひとつ効果をプラスしたい方は、ぜひお使いになってみて下さい。

＜研修会報告＞

「褥瘡について」

教育委員会
褥瘡対策委員会

令和 4 年 5 月 25 日（水）、メープルホールにて知仁会研修会が行われました。今回は、内科 佐々木雅敏医師が講師となり、「褥瘡について」というテーマで研修を行いました。

平成 30 年度からスキンテアが褥瘡危険因子に加わったため、スキンテアについての説明もありました。スキンテアとは『摩擦、ずれによって、表皮が裂けて生じる真皮深層までの損傷』のことです。具体的な例として、①四肢がベッド柵に擦れて皮膚が裂けた②テープを剥がすときに皮膚が裂けた③ベッドから転落した時に皮膚が裂けた④リハビリ時に身体を支持したら皮膚が裂けたなどがあげられます。他にケアの方法についても説明がありました。

患者様の中には褥瘡が発生している方もおり、日々の看護に活用できる大変興味深い内容だったと思います。



自宅で座ったままリハビリができる イエリハ アプリ



知仁会だより 6月号では、5月号でもお知らせした「イエリハ」アプリについて、再度ご紹介させていただきます。ご自宅（イエ）でできるリハビリを積極的に活用していきましょう！

“リハビリ”というと、病院やデイサービスなどでスタッフが考えたプログラムをスタッフと一緒に取り組むイメージが強いのではないのでしょうか。それに加えてご自宅でもリハビリに取り組むことができると、より活動的に毎日を過ごすことができます。しかし、以下のような不安があると、ご自宅ではなかなか積極的に取り組みにくいと思います。そんな高齢者の方やご家族の方にこの「イエリハ」アプリをご紹介します。

- ・ 何に気を付けて運動したらいいの？
- ・ どのように日常生活動作の訓練をしたらいいの？
- ・ 運動に必要なタンパク質は何をどれくらい食べたらいいの？



「イエリハ」は、介護が必要になった高齢者の方や介護予防を実践したい高齢者の方が、ご自宅（イエ）でリハビリを続けられるように様々な工夫を用いたアプリです。多職種の専門家が共同で開発しており、「運動」「日常生活動作」「口腔ケア」「栄養」の4つの分野で構成されたリハビリメニューとなっています。そのため、運動や栄養についての考え方、栄養補助食品についてなど様々な資料も見ることができます。また、リハビリを習慣にできるよう、毎日の頑張りを見えるような工夫もされています。

アプリではそれぞれの専門家が作成したイラスト画像や動画などが盛り込まれており、初めてリハビリを行う方でも安心してご利用して頂けます。

運動

体幹筋力
上肢筋力
下肢筋力
バランス
体力

日常生活動作

指の動作
にぎる動作
手首の動き
腕の曲げ
伸ばし

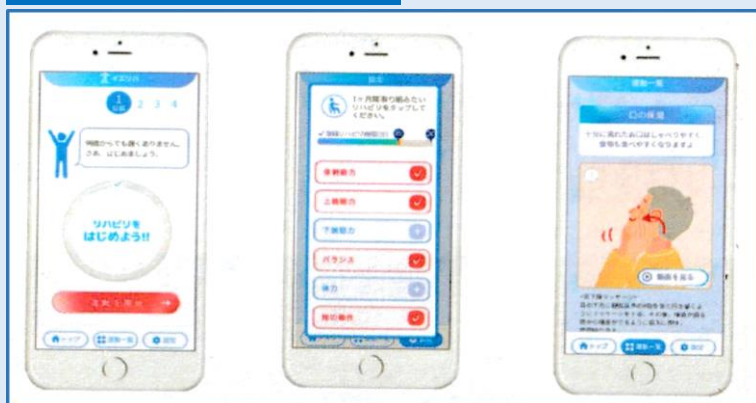
口腔ケア

口の清掃
口の保湿
口・飲み込み機能
食欲

栄養

食材の
タンパク質量
栄養補助食品一覧

アプリのページをご紹介します！



(図1) 各食20gの例

朝	昼	夕
食パン1枚 (6枚切) 5.9g	ご飯粒<1杯 (140g) 3.5g	ご飯粒<1杯 (140g) 3.5g
卵1個 (50g) 6.2g	豚片ロース肉 3枚(70g) 12.8g	鶏1切(70g) 15.7g
牛乳 1杯 (150ml) 5.1g	ヨーグルト 1個(70g) 2.6g	納豆ミニ 1パック (30g) 5g

新型コロナウイルス等の影響もあり、通いの場やデイサービスなどを十分に利用することが難しい今こそ、ご自宅（イエ）でリハビリ・介護予防に取り組める「イエリハ」をはじめてみてはいかがでしょうか？
アプリのダウンロードは「イエリハ」で検索するか、右下のQRコードをご利用下さい。

イエリハ



本アプリは令和3年度広島県地域医療介護総合確保事業により、広島県慢性期医療協会、広島大学大学院共生社会医学講座・精神機能制御科学研修室が制作しました。また、当院院長の石井知行、認知症疾患医療センター外来担当の石井伸弥および当院3つの専門職（リハビリ科・栄養課・歯科）が制作に携わっています。

★医師のスタッフ数

	常勤医師	非常勤	医師合計数
精神科	5 名	2 名	7 名
内科	4 名	15 名	19 名
放射線科	1 名	0 名	1 名
合計	10 名	17 名	27 名 ※基準数 9 名
歯科	0 名	5 名	5 名

★リハビリのスタッフ数

	リハビリスタッフ数（非常勤）
理学療法士	11 名（5 名）
言語聴覚士	3 名（0 名）
作業療法士	10 名（1 名）
合計	24 名（6 名）※基準数 13 名

★敷地内禁煙について

当院では敷地内での喫煙を健康増進法に従って禁止しています。喫煙につきましては、敷地外の所定の喫煙場所をお願い致します。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

★外来診療担当

認知症疾患医療センターで、もの忘れ外来も実施しております。

	月	火	水	木	金	土
精神科	石井 知行	野見山 敏之	石井 知行	野見山 敏之	河内 英基	岡村 仁
内科	佐々木 雅敏	佐々木 富美子	松尾 行雄	加藤 礼子 茶山 一彰 (第2・第4)		芹川 正浩
歯科	広大医師 第2月曜のみ	広大医師	広大医師	広大医師		
認知症疾患 医療センター	石井 伸弥 (初診)	石井 伸弥 (初診)	日野 亮真	日野 亮真		河内 英基

★診療時間：精神科 9:15～12:00・内科 9:30～12:00・歯科 9:15～12:00

認知症疾患医療センター9:30～12:00（予約及び緊急時は午後も診察します。）

★当院外来では、ヘリカルCT、腹部超音波検査を行っています。御希望の方は外来スタッフまでお申し出下さい。

※ヘリカルCT・レントゲン検査は午前中のみになりますのでご注意ください。

★令和4年6月より、認知症疾患医療センター水・木曜日担当の医師が日野亮真医師に変更になります。

★地域連携室のご案内

★入院、退院、在宅サービス、施設見学についてのご相談、また、苦情、お困りごと、その他、ご質問等ございましたら、**地域連携室**までお気軽にご相談下さい。スタッフ一同、プライバシー保護を遵守しておりますので、患者様、ご家族様から知り得た情報は了解なしに第三者に開示されることは決してありません。ご安心してご相談ください。

★地域連携室の主な業務：入院相談・退院相談・入院生活や退院後の生活についてのご相談、医療福祉サービスや制度などのご案内・諸手続の援助等

地域連携室（メープルヒル病院本館1階）0827-57-7451

責任者：地域連携室 福原 啓司

個人情報保護に関する医療法人社団知仁会の基本方針

知仁会は常日頃より患者様・利用者様の視点に立ち、質の高い医療の実現とよりよいサービスの提供を目標として、診療業務を営んでおります。患者様・利用者様の健康状態に応じて迅速に的確な医療を提供させて頂くためには、患者様・利用者様に関する様々な医療情報が必要です。患者様・利用者様と確かな信頼関係を築き上げ、安心して医療サービスを受けて頂くために、患者様・利用者様の個人情報の安全な管理は必須です。知仁会では、下記の基本方針に基づき、医療情報の管理を行い、患者様・利用者様の個人情報保護に厳重な注意を払って参ります。

1. 個人情報保護に関する法律を遵守し、患者様・利用者様の情報を個人情報保護委員会で管理しています。
2. 診療及び病院の運営管理に必要な範囲においてのみ、患者様・利用者様の個人情報を収集しています。
3. 患者様・利用者様の個人情報への不正アクセス、紛失、改竄及び漏洩を防止し、安全対策を実施いたします。
4. 一部、検査等を外部の医療施設等に委託する場合があります。その際に、患者様・利用者様の情報をこれらの施設に知らせる必要のある場合があります。この場合、知仁会では、信頼のおける施設等を選択すると同時に、患者様・利用者様の個人情報が入り込まないように契約を取り交わします。
5. 患者様・利用者様が継続的に良い医療を受けられるように、診療に関する情報を、病院、診療所などに提供する場合があります。また、ご本人様、ご家族様に事前に承諾をいただいたうえで、学会や研究等で医療の発展の目的として情報を利用する場合があります。
6. 患者様・利用者様の必要に応じて、診療情報を開示しています。しかし、最良の治療の継続に支障をきたすことが考えられる場合は、開示しないことがあります。
7. 知仁会では、患者様・利用者様の取り違えなどの事故を防ぐため、入院患者様・入所者様氏名を病室・療養室前に掲示しております。ご理解、ご協力をお願いいたします。名札の掲示についてご希望がありましたらお申し出ください。
8. 知仁会では、原則として面会制限は行っておりませんが、面会に関してご本人様、ご家族様の希望がありましたら病棟職員にお申し出ください。



医療法人社団 知仁会

〒739-0651 広島県大竹市玖波5丁目2番1号

TEL 0827-57-7451

FAX 0827-57-5312

ホームページアドレス <http://tijinkai.or.jp/>



メープルヒル病院

広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・
玖波地区地域包括支援・合併型センター
地域活動支援センターみらい



介護老人保健施設ゆうゆ

ゆうゆ居宅介護支援事業所
ゆうゆ訪問看護
ゆうゆデイケア
訪問リハビリテーション

《アクセス方法》

■ JRご利用

広島駅から玖波駅 35分

玖波駅から

バス・タクシー約5分／徒歩約10分

(玖波駅西口から送迎バスを運行しております。)

送迎バスは玖波駅発 9:30、12:35

となっております。

■ 山陽自動車道ご利用

大竹インターから約5分



<患者様へお願い>

1. ご自身の健康に関する正確な情報をお伝えください。
2. わからないことがありましたら、ご納得いただけるまでご質問ください。

●メープルヒル病院、老人保健施設ゆうゆ、各社会復帰施設の紹介や知仁会から発行する広報誌、毎月の行事一覧、知仁会のサービス案内などを掲載しています。

また、皆様からの質問・相談窓口としてホームページ上にご意見板を用意していますので、知仁会に関する質問や日常生活の様々な悩み・相談、また見学のお問い合わせ等ありましたら、お気軽にお尋ね下さい。

●求人に関する情報もありますので、ご覧下さい。

ホームページアドレス <http://tijinkai.or.jp/>

●本誌に掲載されております写真等につきましては、ご本人あるいはご家族の了承を得て掲載させて頂いております。

●知仁会だよりについてのお問い合わせ、ご意見は担当：濱浦・横山・福島までお寄せ下さい。